


## よくある「汚破損本」の事例

**1**



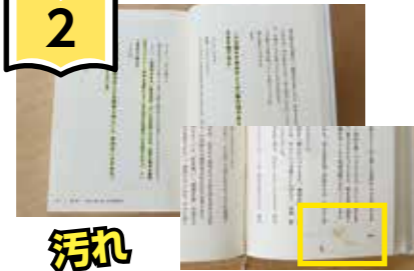
**水濡れ**

【対応】

- 本のそばに飲み物を置いてこぼす  
→本と飲み物は別の場所に
- ペットボトルと一緒にカバンに入れる  
→一緒に入れない

※水濡れはカビを発生させ他の本にまで繁殖します。

**2**




**汚れ**

【対応】

- 筆記用具などで書き込む  
→読むときは筆記用具を持たない
- お菓子などの油がつく  
→食べたり飲んだり、タバコを吸ったりしながら本を読まない

**3**



**破れ**

【対応】


- 読んだ目印のために折り目を入れる  
→しおりを使う
- 強く引っ張ったりして破れる  
→優しくめくりましょう

**1冊1冊に愛を込めて、本の修理作業に取り組む**


本の修理は2008年から手探りで始め、今年で14年目になります。中央図書館のボランティアとして何か支援できることがないかという思いで始めました。現在、修理は会員の中の5人でを行っています。1年間に100冊ぐらい修理をしますが、1冊1冊、本を愛する気持ちを込めて作業しています。

直った本をまた読んでもらえるのはうれしいですし、やりがいがあります。それに、本も生きていますので、息を吹き返せば寿命が延びて、多くの方に触れていただくことができます。図書館の本1冊1冊は、丹波篠山市民のものなので、大切にしてほしいと思います。

ボランティアの参加や見学は大歓迎です。お気軽に図書館にお越しください。  
[毎月第1・2・4金曜日午前～活動中]



ささやま図書館友の会  
福山和子さん



手分けして作業をします

ページのりづけ

テープをはがすためのアイロンがけ

**もし汚破損してしまったら、すぐ連絡を！**

汚破損本で一番多いのは水濡れ。次に食べ物などによる汚れです。また、子どもさんが本を破いたと、セロハンテープで直される方もありますが、本を傷める原因となりますのでご遠慮ください。特殊なテープで修理ができますので、修理せずにカウンターに申し出てください。

図書館の本は、市民の皆さんの共有財産です。汚してしまった本が、何年後かに利用者さんの大切な資料になるかもしれませんので、大切に扱いましょう。



中央図書館 司書  
西澤健太郎さん

**「マナーアップ愛本運動」を開催**

8月3日(水)から30日(火)まで、汚破損本を減らすための「マナーアップ愛本運動」を行います。汚破損本を展示し、図書館のマナーアップを呼びかけます。夏は水に触れることが多いので、本の取り扱いにはご注意ください。

期間中、本を借りられた方には特製「まるいの」しおりをプレゼントします(数に限りがあります)。ぜひ、図書館にお越しください。



# 本が泣いています

図書館の本はみんなのものです

丹波篠山には中央図書館と丹波篠山市民センター図書コーナーがあります。2カ所を合わせると約24万7千冊の本があり、昨年度はのべ約10万8千人の方が利用されています。

これだけ多くの本があり、利用があることから、返却される本の中にはページが破れたり、濡れたり、食べ物による汚れや落書きがあったりと、次の人にそのまま読んでもらえる状態でないものがあります。そういった本のことを「汚破損本」といいます。

誰もが気持ちよく本を読めるよう、利用者の方一人ひとりが、本を大切に扱いましょう。  
問い合わせ 中央図書館 ☎590・1301

**汚破損による利用不可な本は年間約90冊**

昨年度の図書館の汚破損本により廃棄を余儀なくされた本は、約90冊もありました。単純に計算すると1カ月に約8冊、1週間に約2冊という割合になります。ページが破れたり、飲み物などの染みで汚れたり、こじったことは、ほとんどが「つかり」起ってしまうものだと思います。この「つかり」を防ぐためには、「借りている」という意識をもって注意をしておくこと、また、自分のほかに読みたい人がいるということを考えていただきたいと思います。

**1冊1冊、手作業で修理**

基本的には、本が傷んでしまうと弁償していただくことになり、弁償方法としては、本代のお支払いや同一本の交換などがあります。ただし、傷み具合によっては修理

本が傷んでしまうと、読みたいけど待つことになる方がたくさんいます。できなくなったり、また、既に絶版になっていて手に入れることができない貴重なものもあります。

図書は後世まで残していきたい大切な市民の皆さんの財産です。皆さんの意識次第で本が喜んだり悲しんだりします。丹波篠山の図書館は、利用される方も本も気持ちよく利用できる図書館でありたいと思いますので、皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

**本は市民の皆さんの大切な財産です**

できるものがあります。「ささやま図書館友の会」のボランティアの皆さんや図書館職員で、1冊1冊手作業で修理しています。

もしも傷めてしまった場合は「自分で修理せず」必ずお申し出ください。